

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	エキリブリアム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：エキリブリアム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

研磨剤

比較対照ボール：ギア・ゴリアテ

フレアーの幅 インチ

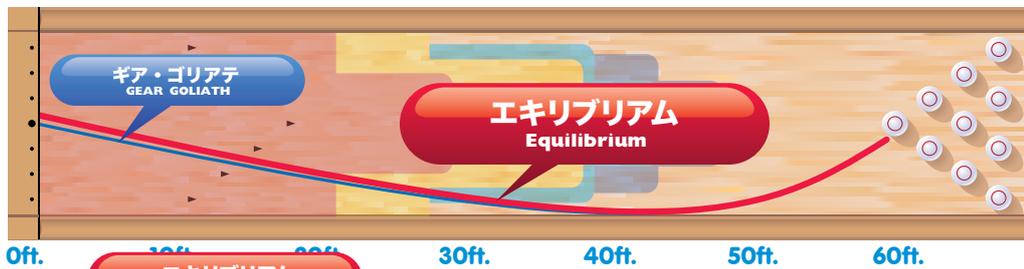
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

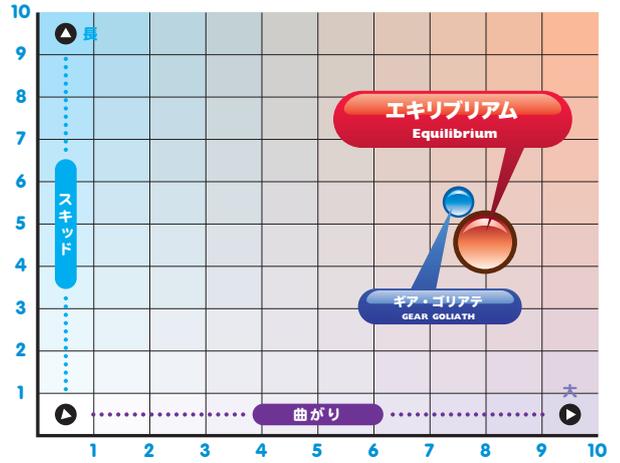
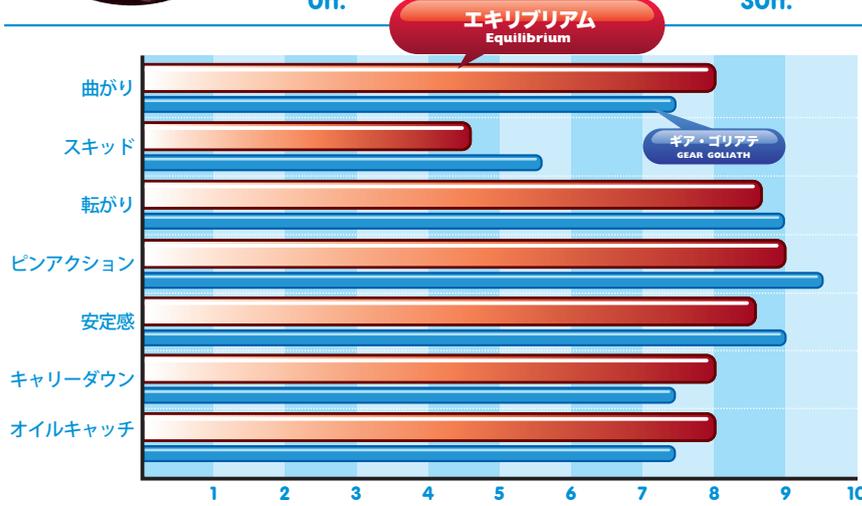
PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

900GlobalでS74と言えば最も多く使われている代表的なカバーストック。そのS74カバーのHybridバージョンとDark Matterで使用したDome SymmetricコアをInvertさせた新しい”DOME”で”Equilibrium”が発表されました。

Dark Matterで感じたバックエンドで立ち上がりからのシャープな動きはコアがInvertされても継承され、メリハリ感と共に入射角の強さも感じます。S74カバーでも表面の仕上げを4000アブラロン仕上げにすることで、ややキャッチさせる意図で仕上げられているのが投球すると分ります。Dark MatterではS60のSolid仕上げでしたが、そのころのレポートに記載した通り、S74という定評があるカバーとDOMEコアの組み合わせは良い動きが期待できると想像の通り、このEquilibriumは予想以上の動きをした性能が出ていると思います。ABS専属の山本勲プロは4000アブラロン仕上げをあえてポリッシュすることで、スキッドと奥の動きのシャープさをより求めました。私の場合は表面仕上げはそのままややMidの動きを見ながらシャープな入射角を求めました。

手前が走って欲しい山本プロタイプと私のようにMidでやや減速感が欲しいかどうかで表面仕上げが異なりますが、光らせることでパフォーマンス領域がよりシャープに攻撃的になるので、ドリル後のパフォーマンス調整が広いボールとも言えるでしょう。

900Global社の製品はカバーストックの領域も広く、900Global社だけでレポートリーが揃えられるだけのものがあります。その時まずメインとなるのがS74カバーのボールと言えるでしょう。S74でもPearlなのかHybridなのかはタイプや好みになりますが、コンディションを読み取るには基準になる領域になると思います。まずこのボールを投げてオイルを確かめ、これより上の領域なのか、下の領域なのかベンチマーク的な役割の強さと思って頂くのが良いでしょう。

特記事項

シンプルなコアですが、以前からカバーの強弱でさまざまなパフォーマンスが予測できた定評のあるデザインのボール。箱だしのまま投げても、ポリッシュしても性能が活きますので幅広いボウラーに対応できます。